

2020. 9. 20 今、何が真の問題なのか（新約聖書：第一テモテへの手紙 4 章 7 節から 16 節）

<https://www.youtube.com/watch?v=Z7n1XPSQiaE>

何が真の問題なのか では、おはようございます、ようこそ。日曜日の朝の第二礼拝です。私たちは二つの礼拝があります。第一礼拝は、毎週の聖書預言のアップデートです。第二の礼拝は、聖書御言葉から学ぶ説教です。巻ごとに、章ごとに、節ごとに。先週はテモテへの手紙第一、第四章 6 節まで進みました。今日は 7 節から始め、御心に叶うなら、4 章 16 節の最後まで進む予定です。オンラインで見ている方は、その箇所をお開き下さい。その間、重要なことをお話しします。本当に重要なことです。私たちは、”jdfarag.org” という新しいウェブサイトを立ち上げるとい発表をしました。YouTube やその他の SMN プラットフォームで 検閲を受けた場合の代わりとしてです。多くの人がオフィスにメールを送って来て、会員登録をしたいと言ってきましたが、問題は、実際にウェブサイトに行く必要があることです。サイトの、メールアドレスを入力する画面が、ハイライトされています。皆さんがその画面で、ウェブサイトのそのページでメールアドレスを入力すれば、会員登録ができます。我々にメールを送って来て、「通知を取得したい」と言っても、受け取れません。ウェブサイト上で あなた自身がその手続きを行う必要があります。あなた自身が、メールアドレスを入力するよう お願いします。それから最後に一つ言及しますが、本当にこの事をお願いしたいと思います。私は謙虚になって、第一礼拝で、私たちのオンライン教会のためと、この教会のために祈ってくださいとお願いしました。私たちは、守られるために 特別にみなさんの祈りが必要です。そうです、私たちは一般に公開しています。そのためいくつかの厳しい対策と 安全対策を講じなければなりませんでした。そのことにより、自分の教会と呼ぶ人々の為に、安全な場所を提供できるようになります。私たちのために、神がこの教会を守ってくださるように、そしてこの教会と教会の働きに 神の祝福がありますように、どうかお祈りください。皆様のお祈りに感謝します。さて、テモテへの手紙第一、第四章 7 節からです。ここにおられる方で、可能な方はお立ち下さい。私が 7 節から読みますので、ついてきてください。使徒パウロは、テモテという名の若い牧師に 聖霊によって手紙を書いています。7 節で言います。

テモテへの手紙第一、第四章

「俗悪で愚にもつかない作り話を避けなさい。むしろ、敬虔のために自分自身を鍛錬しなさい。」—7 節—

「肉体の鍛錬も少しは有益ですが、今のいのちと来たるべきいのちを約束する敬虔は、すべてに有益です。」—8 節—

「このことばは真実であり、そのまま受け入れるに値するものです。」—9 節—

「私たちが労苦し、苦闘しているのは、すべての人々、特に信じる人々の救い主である 生ける神に、望みを置いているからです。」—10 節—

「あなたはこれらのことを命じ、また教えなさい。」—11 節—

「あなたは、年が若いからといって、だれにも軽く見られないようにしなさい。[私はもうその問題を抱えていません]むしろ、ことば、態度、愛、信仰、純潔において 信者の模範となりなさい。」—12 節—

「私が行くまで、聖書の朗読と 勧めと教えに専念しなさい。」—13 節—

「長老たちによる按手を受けたとき、預言によって与えられた、あなたのうちにある賜物を軽んじてはいけません。」—14 節—

「これらのことに心を砕き、ひたすら励みなさい。そうすれば、あなたの進歩は すべての人に明らかになるでしょう。」—15 節—

「自分自身にも、教えることにも、よく気をつけなさい。働きをあくまでも続けなさい。そうすれば、自分自身と、あなたの教えを聞く人たちとを、救うことになるのです。」—16 節—

ご一緒に祈りましょう。天にいます愛する父よ、あなたの御言葉に感謝します。今日、私たちは、共に聖書を開くことができ、御言葉を通して、私たちの人生に語りかけてくださる聖霊の小さな声に、耳を傾けることができる、この時間を感謝します。主よ、あなたの御言葉が生きていて、力あり、どんな両刃の剣よりも鋭く、骨と骨髄、魂と霊の間を切り裂くことができることに感謝します。主よ、あなたの御言葉により、速やかに切り裂かれますよう願います。主よ、私たちの心の奥深いところへ、ご自由にお入りください。主よ、今日、あなたが私たちのために働きかけてくださることを期待し、あなたの為されるこのとに、前もって感謝します。イエス様の御名によって、アーメン、アーメン。ありがとうございました。ご着席下さい。今日は、人生の再検討、さらには優先順位をつけ直すことの重要性についてお話ししたいと思います。特に今、本当に重要なのは、世界で起きている、全てのことに關してです。人類の歴史の最後の時間で、それは全く、人類歴史の終わりの時です。このような発言をすることを、お許しください。しかし、今日の世界は、「何気ない綿菓子のような」クリスチャンの生活に、最も寛容でありません。それは何を意味するのでしょうか？ まあ。。。もはや我々は、教会ごっこはできません。私たちはもう、神のことについて、中途半端に扱うことはできません。私たちは今日、それを許さない世界に住んでいます。以前はそうではなかったかもしれませんが、今や私たちは繁栄するどころか、生き残る方法すらありません。私たちの生活を再確認し、優先順位を決め、本当に一歩下がって、すべてをテーブルに置いておくのでなければ...テーブルから、何も外してはならない。それらを再評価する。これはどうでしょうか？ それはどうですか？ 私たちはこんにち、別の世界にいる。同意してくれますか？ 過去7ヶ月、6ヶ月で何が起こったのか考えると？ 物事がどれだけ早く変わったか？ どれだけ思い切った劇的な変化があったか。このままだと、半年から7ヶ月後に どうなってるか想像できますか？ もし、まだこの世にいれば...これは、今日の御言葉の中で、使徒パウロがテモテに指示していることです。つまり 彼が直面した危機の中で、優先順位を保つことです。彼は途方もない困難と苦難に、直面していました。彼らはエペソにいます。実際、手紙の冒頭で、パウロは彼に 出て行かないように命じている。テモテは去りたいと願っていました。彼はそこに留まって、襲ってくる 全ての問題に対処したくはなかった。パウロは彼を励まし、指導し、本当に重要なことに焦点を当て、優先順位をつけるように指示しているのです。危機のときは、そうしますよね？ それは本当に重要なことを再確認し、優先順位を付け直すことを余儀なくされます。そのために、危機も必要となるのです。それが、ここではテモテの上に起こってます。人生の困難や苦難は 私たちの意識を集中させ、軽薄で曖昧な追求に 時間を浪費しないようにさせます。私は個人的に、人類の歴史の中で、これまでに見たことのないような、またこれからも見ることのないような 時代に入ったと考えています。そして、どうでもいいことをしている 場合ではありません。祈り、本当に主を求め、今日の説教のために心を準備していたとき、御霊が、今日の教会として私たちに何を 語っておられるのか、主に本当に問いかけました。耳のある者に、御霊が教会に語っていることを 聞かせてください。聖書の全てのことは、神の息吹です。紙面を埋めるためだけに 聖句が与えられているわけではありません。すべての御言葉は、再証明、指示、叱責（必要であれば）、方向付けのために働きます。ですから、主が私に示してくださったのは、我々が生きているこの世界で、主は私たちのための 言葉を持っておられるということでした。ところで、今日のテキストは、今日の私たちのために書かれていたかもしれませんが、つまり、今この危機の真っ只中にいる我々は、ほぼこの御言葉通りだと思うのです。私は五つを見つけました。もっとあるかもしれませんが。私は五つの、再検討された優先事項を見つけました。もし、これからの時代に良い兆しを期待するならば、私たちクリスチャンが追求すべきことです。さて、ここでは新たな啓示がないことを 警告しておきます。ここで見ることになるものの多くは、本当に基本的で基礎的で、ベースとなるものです。7節と8節の最初のものから始まります。それは霊的な訓令、鍛錬です。ここでパウロはテモテに、迷信、言い伝え、愚にもつかない作り話や寓話に 時間を浪費しないようにと諭しています。これらは人の常であるが、そうでなく、精神的な鍛錬に時間を用いることを勧めている。少し言わせて下さい。これは個人的なことで、肉体的運動のことになると...私は運動は出来てません。あなた方も同

様ではないですか？ この身体がその証拠です。...何も悪いところはありません。しかし、ここでポールが言っていることは、ええ、メリットがあるということです。運動や肉体トレーニングは効果があるだろうが、長続きません。確かに健康には効果がありますね。先週に引き続き、今週も考えていました。お許し下さい。ユーモアだと思って...何か分かりませんが、食べ物によっては”神秘的な”ものがありますよね?...その食物を見て、私は主に感謝する。そして、待て!と思う。それを食べるとズボンがきつくなり、シャツが合わなくなる。何が起きているかという、服が全部縮んでいるから、陰謀だと思う。私はもう、体重計には乗りません。最後に体重計に乗った時、その数字を見て、私は真剣に祈り始めました。ああ、主よ、早く来てください!...だからもう、私は体重計に乗りません。服はきつくてフィットしないので、私が何をするか分かりますか? 大き目の服を買う。どうもありがとうございました。まさにその通りです。ここに私の言い分があります。それ、聞きたいですか? 準備はいいですか? よし、待ってろよ。私のこの体には、多くのマイレージが貯まっている...私は、「なぜ多くのエネルギーと時間と資源を投資して、自分自身を奪い、肉体に取り組むのか?」と、考えます。なぜなら、今すぐラップが鳴り、新しい体を手に入れるからです。それは私の話で、それに固執しています。オーケイ? 今日は嫁がいないので、助かりました。もちろん、後から視ないわけではないのですが...それは良いことですよ? 妻が、健康で長生きしてほしいって言うのに、「ベーコングリスを食べて」みたいな感じだったら 気になるんだろうな。あの生命保険はいくらだったんだっけ? とにかく、私の問題はもうこれだけでも十分です。でも、要点は分かりますよね? パウロが言っていることは、「大丈夫、いいよ、それは素晴らしいことだ。」皆さんは健康のため、ランニングと肉体運動に熱心で、それは素晴らしいことです。メリットはあります。しかし、長続きません...この世の人生だけでなく、永遠の命まで続くものを知りたくないですか? 霊的な鍛錬です。繰り返しますが、これは私の話であり、私はそれに固執しています。数年前、今から数年前のことを思い出します。妻が誰かに、私は肉体的な鍛えが無いと、話してました。しかし、霊的に鍛えられていたそうです。はい...これはプライドでしょうか? いいでしょう。さて、良く聞いて下さい。くだらないユーモアと例えの故で、この大事なポイントを見逃してほしくありませんので。身体を動かすことのメリットを考えて、それを霊的な訓練の領域に重ね合わせてみてはいかがでしょう。御霊の霊的な領域では私たちはとても強く、望むなら霊的マッチョになることができます。私の、霊的腹筋 (six pack) を見て下さい。それはパウロが言っていることです。それが長く続くものです。それが本当に利益になるのです。繰り返しになりますが、日常的に行うことに投資する時間について話しましょう。私が話していないことを分かってください。聞いてください。私たちは仕事に行きます。今の時代、仕事があることを非常に感謝すべきですよ? 私たちは仕事に行き、生活のために働いて養う必要があります。私はそれを理解しますが、世俗的なものと神聖なもの間に分離があるというこの概念に捕らわれてはなりません。それが何を意味するのかを説明します。職場や仕事、ビジネスと、ミニストリーを切り離していると、大きな間違いをしていると思います。あなたがたすべてが、ミニストリーの中にいることに気づいていますか? あなたのビジネス、あなたの仕事、それがミッションフィールドです。私たちはそうなりがちで、教会はその点では何の役にも立っていないのです。私たちはこの二つを分けてしまいます。仕事に行って、家に帰ってきて、日曜日に教会に行く。そして、二人は二度と会うことはない。私はそれが悲劇的だと思います。私たちのビジネス、私たちの仕事、それが我々のミニストリーです。神様はどんなことでも、それを用いることができます。あなたは考えているかもしれませんが...私が生計を立てるために何をしたら知ったら、驚くでしょう。実際には、さらに言えば、教壇の後ろにいる私のような人間よりもあなたがたの方が、牧師として、より大きな影響力を持つと言えます。どうしてか? それは、あなたが牧師ではないからです。私が牧師であることを誰かが知ると即、壁がどれだけ早く、どれだけ高くなるかに驚き、多分ショックを受けるでしょう。ああ、尊い牧師さん? 尊いと言わないで下さい。つまり、彼らの全体的な気質、全体的な表情、言葉遣いが変わるということです。ああ、私のフランス語を失礼します。私の父は、高校でフランス語を教えてました。それはフランス語ではなかったもので、はっきりして

いますが、しかし、すべてが変わります。壁が立ち上がるような感じです。私は聖職者で、彼らは信徒... 大きな溝があるんです。でも、私のような人間には到達出来ない場所にも 到達することができま。霊的な運動、霊的な訓練は 汗、労働を意味します。体を動かすという意味では、二つです。...

まあ、この話はしない方が良くも....。しかし、話します。あなたのせいです。私は、” 私たちは何か”と考えています。“私たち”と言うのは、広い意味での話です。持続しないもののために、自分の体を委ねていることにです。使徒パウロが話している時、私は考えます。彼は古代の競技について言及しています。 私たちが知っている古代競技はオリンピックです。彼が言っているのは、私たちは訓練し、働き、自分を縛り、自分を鍛え、自分を鍛えて、長続きしない花輪のために、すべてを投じているということです。王冠のために、これ以上、 どれだけ多くのことをなすべきでしょうか。それがパウロの言っていることです。最後にもう一つ。 もう最後のことを言いましたかね? これは、この点についての最後のものです。まだ聖書を閉じ始めないでください。 まだ終わってませんから。そうか...

主よ、助けてください。我々が地上で70年、80年の間に行ったことに比例する ことが、永遠に続くのを理解していますか? 地球上でのあなたの人生が どれだけ長いものであっても、ここ地上での生活が、あなたの永久の命を永遠に定めるのです。良く考えてみましょう。天国の財宝には様々な尺度があります。マタイの福音書、六章 イエスは、虫やさびで傷物になる地上に あなたの財宝を積み上げてはならないと言いました。そして、IRS(国税庁)、いや、言いたいのは、 泥棒に入れ盗まれてしまいます。自分のために、天に宝を積み上げて下さい。そこは、泥棒に盗むられない場所で、 虫やさびで傷物とはなりません。それからパウロはこう言うのですが、 本当に奥が深く、最初に読んだときには 見落としてしまうかもしれません。彼は言う...

「あなたの宝があるところ、 そこにあなたの心もあるのです。」 マタイ 6 : 21

逆に、言っていないことに注意してください。彼は、” あなたの心がある所に、 あなたの財宝がある”とは言いません。あなたの財宝のある所が、 あなたの心があるところですか。あなたの投資先はどこですか? あなたの人生の、主となる情熱は何ですか? 過ぎ去っていくこの世のものの中に、あるのでしょうか? それとも、天国で積まれ 待っているものなのか。それは脆弱でなく、影響を受けず、価値を衰退さすようなものは、 なにもアクセス出来ません。霊的な鍛錬、二つ目。 9節から11節まで。それは非常にシンプルなことです。 繰り返しになりますが、 根本的には神を信頼することです。パウロはここで、 不確かな言葉ではなく、明確にしています。私たちの唯一の希望は、 私たちがすべての信頼を置く、 救い主イエスにあることを。パウロがこのように言ったことに 暗示があります。それは、誰にも信頼を置くな、ということです。時間を無駄にせず、神に信頼を置いてください。もし世界が、希望と救い主を 求めている時があったとしたら、私たちに救いが必要な、今がその時です。しかし、ここに問題があります。実は今日、聖書預言アップデートで この話をしました。私たちには本来、ヒーローが必要なのです。私たちは人を、人間が属していない 台座の上に置きます。そして、神は嫉妬深いお方です。 私たちの故にではなく、 私たちのためにです。十戒の第二戒では、 神は宣言していると思うでしょう。「あなたはわたしのほかに、 ほかの神々をがあってはならない。」なぜなら、 ” わたしが神”であり、わたしがそう言った” からです。いいえ。それは逆です。むしろ、こんな感じです。十の戒ではなく、 ある人が言ったように ”優しい戒め”です。私たちをととても愛してくださる 愛に満ちた優しい天の御父から、 “わたしのほかに、 ほかの神々があつてはならない。”と小文字のGを付けて言われました。なぜならそれらの他の神々は、 神ではないからです。こんな神々のイメージを自分のために作って、 頭を下げて崇拜してはいけません。それらは、神ではないのです。彼らは、あなたのために そこにいるのではありません。あなたを愛してはいません。あなたのために死んだのは彼らではない、私 が死んだのだ! それをしてはならない。なぜなら、私があなたの神、主であるからだ。旧約聖書を通して、 何度も何度も繰り返している。神はモーセに、 アロンが民に語りかけるよう命じます。“私が主であり、あなたの神である”そのような聖句を読むときに、 どこが強調されているのか、 じっくり考えてたことがありますか? そうじゃなく....わたしがあなたの神、主であるのか、 それとも、わたしは

あなたの神の主であるかの。私は、” わたし (I) ” に 重点を置いていると思います。わたし！ あなたを連れエジプトから救い出した あなたの神、主である。それはあなたの神ではありません。それはあなたの神様ではありません。それは、神ですらありません。あの神は、どうやってあなたを助けるのですか。契約の箱がペリシテ人に奪われ、ダゴンの神殿に持ち込まれたときのことを 考えてみてください。彼らが崇拜した、彼らの神です。半人半魚の像で、彼らはこの神を崇拜していました。ペリシテ人は契約の箱を奪い、ダゴンの神殿に持ち込み、それを放置してました。翌朝彼らが戻って来ると、ああ、ダゴンがうつ伏せになっていた。聖約の箱の正面の、いい場所に...それがひどく壊れてたので、彼らの神を接着剤で接着し直したそうです。あなたが、神の世話をしなければならないとき、それはまったく困った状況です。なぜなら、その神様は あなたの面倒を見られないからです。で、ここにいる神がダゴンです。ダゴン・イト、なぜこれが口からでるのか 分からないけど.....。面白いのは.....。一つ目で最後のことをしなかったの、それでここで最後の一つ....非常に興味深い。ヨナを知っていますね？ 魅力的です。もちろん、彼は神から逃げます。それがどうなったかは知っていますよね。惜しいですね、しかし、いいですか？ 神からは逃れられません。神はどうやって彼を...。神は、私たちをニネベに連れて行くつもりです。私たちが好むと好まざるとに関わらず。いいですか？ で、どうやってニベアに連れて行くのでしょうか？ 生々しくて申し訳ないのですが、彼は大魚から吐き出されます。彼はその魚の腹の中に三日間もいました。ここにある類型があります。今、あの巨大な魚の胃酸を考えてみてください。ちなみにこれは実話です。 実際にあったことです胃酸のせいでヨナは、白子のようにになってしまい、そして出てきた時は 狂人のように見えてしまった。興味深いのはここからです。ニネベ人が崇拜していた神を 知っていますか？ダゴン、半魚、半人。あなたはニネベ人で、突然あなたの神が上陸し、魚が出てきて、男が出てきます。みんなが注意を払います。だからこそ、ヨナのろうばいで ニベア人は大いに悔い改めたのだと思います。つまり、ヨナは神に怒っていました。もしヨナが今生きていたら、どんな会議でも講演を 頼まれることはなかったでしょう。というか、福音を説くことさえしないでしょう。良い知らせも希望も、何もありませんでしたから。彼のメッセージが どうだったか知っていますか？「あと四十日、お前達は亡びるぞ。」 「私は待ちきれない....」 「私は向こうで待って、見ている」 「燃えるぞ。」ニネベ人は、「我々が滅ぶ？」そして彼らは悔い改める。ヨナは、「何？」 「冗談だろう??」ヨナ書を読んでみてください。それは素晴らしいです。いいでしょう....最後に一つだけと言ったから、これ以上は何も言えません。第三番目。これは大したものです。12節、神の模範。面白いですね。パウロはテモテに、「年が若いからといって、だれにも軽く見られないようにしなさい」と言います。テモテが10歳代だったとは思いません。おそらく20代が、多分30代でしょう。しかし、当時はそれが 若いと考えられていました。間違いなく、エペソの教会の中には、彼の父親と同じくらいの年齢の人たちが いたのではないのでしょうか。この、まだ青二才と思われる若者が 牧師なんですね。なんだお前は...って感じだったのでしょうか。パウロは、そんなことをさせてはいけな いと言っています。彼らに見下されてはいけな い。軽蔑されてはいけな い。私がテモテだったら、どうやってやるんだろうって感じ。説教して叱責する。私を見下すようなことはするなよ。軽蔑するなよ。うん、それでうまくいくでしょう。いいえ。パウロは彼に、その方法を教えます。そもそも軽蔑するようなものを 一切与えてはいけな い、と。つまり、彼を見下すのではなく、彼を見上げさせるのです。なぜでしょうか。ことば、態度、愛、信仰、純潔において 信者の模範となるからです。どうして見下せます？ 実際、私が50代や60代で、彼が20代や30代で彼が敬虔な模範で、私の年齢で、そうではない場合？ それがその方法です。すこし考えてみます。今日の世界と教会は、神の模範を求めています。...神々しさがどのようなものか、模範が必要なのです。確かに私の育った家では お手本にはなりませんでしたが。それは生反対でした。私のための模範は まったくありませんでした。私は真の実例を見たことがありませんでした。しかし、テモテは明らかに その模範になっていたようです。だからこそパウロは、彼らに見下されてはいけな いと言うのです。あなたは彼らが見下すようなことは、何もしていません。どちらかというと、あなたが神の手本だからこそ、彼らがあなたを尊敬するあらゆる

る理由を 与えているのです。私が彼を子供と呼ばわりしてたら 申し訳ありませんが、大丈夫、若造、少年、これは神心のある子供で、神がかり的模範でした。これは、今日の教会の現状を 物語っていると思います。若いクリスチャンたちが、長い間主と共に歩んでこなかったために、年配の人たちを辱めているのです。私たちは今日の預言アップデートで これを少し見ました。パウロはコリント人への手紙の中で それを参照しています。しかし、ヘブル人への手紙の著者は、さらに顕著に、あなたは何が問題かを知っていると云います。今頃は肉を食しているはずですが、あなたは食べられません。もういい歳なんだが、成熟していない。実際、あなたは肉を食べているだけでなく、はっきり言えば、あなたはまだミルクを飲んでます。あなたは成熟していない。あなたは成長していない。あなたが道路にいた時間ではなく、どれだけの速く道路を走ってきたかが 重要なのです。そして、それがテモテでした。第四番目です。13 節と 14 節に書いてある、御言葉言です。当たり前のことをしっかりと 把握していることは分かっていますが、ここからが本題です。神の言葉への献身に関してパウロがここで テモテに語っていることの重要性を 正確に伝えることができるかどうかは分かりません。愛情がないと思われたいありませんので。これは誠実で正直な心からのもので、主は私の心を知っておられます。しかし、正直なところ、キリスト教徒が 神の言葉を欠いて、どのようにして生き延びる ことができるのか、私にはわかりません。どうやってやってるんですか？ いのちのパンです。

「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。」実はその逆で、(詩篇 119:105) この世界は刻一刻と暗くなっています。神の言葉を持たず、この世界をどう進んでいるのですか。もう一度言います。実はそんなに昔ではありませんでしたが、そんなことをしていても大丈夫だった時代がありました。ただ、神の言葉や神の言葉を 本当に知らなかつただけです。しかし、今はどうやってそれをしようとしているのでしょうか？ どうか、私は誰をも責めていませんように。しかし、この世界で神の言葉を持たないクリスチャンに対しての、それは心からの敬虔な同情なのです。聖書の文盲、不思議ではありません。つまり、考えてみれば多くのことが説明できます。神の言葉に基づいているのではなく、神の言葉を実践していない？ イエス様が教えてくれた 二人の建築主のたとえ話を知っていますか？ 岩の上に1つ、砂の上に1つ。この二人の建築は、基礎という1つを除いて、すべてが同じでした。砂の上に家を建てた者は 嵐が来た時には崩れ落ちてしまいました。たとえ話には興味深い詳細があります。イエスがおっしゃっていますが、その時、大きな音を立てて崩れ落ちました。つまり、これはただ・・・土台から外れただけではなかったのです。そうではなくて、全部が倒れてたのです。さて、たとえのポイントは何でしょうか？ ポイントは、岩の上に家を建てた人は、キリストの言葉を実践した人です。砂の上に家を建てた者は、そうでない者です。神の言葉が土台なのです。なので、「もし…」ではなく、「…とき」。この世界で起こっていること、まさに今起きています。私たちは揺さぶられず、動じません。それはある意味、岩の上にいるようなものです。何年も前に、私たちが本土に住んでいたころ、私たちはよくオレゴン州の海岸に行きました。今はそこに行くことをお勧めしません。悲しいことに、本当に残念です。本当に心が痛みます。私たちはキャノンビーチと呼ばれるところへ行きました。彼らはキリスト教のカンファレンスセンターを 持っていました。私はまだあると確信しています。私たちがこのキリスト教のカンファレンスセンターに 滞在したとき、彼らはこれらの牧師や教師を世界中から呼び込み、偉大な教師を連れて来ました。ビーチのすぐそばで、とても素敵な美しい場所。そして、ビーチに行くと ヘイスタックロックと呼ばれるものが見えます。そこには巨大な岩があり、潮の満ち引きに応じて、それは海に面していますが、ビーチ沿いに近づきます。波がこの岩に向かってぶつかっていて、あなたが近づいて見ると、ヘイスタックロックの上に 鳥がいるのが見えるでしょう。そして、鳥たちはただ歌いながら、創造主を賛美していて、下で衝突している波には気が付きません。なぜでしょうか？ なぜなら、鳥たちは岩の上にいるからです。はい、波は打ちつけています。しかし、私は岩の上にあります。何？あの波は岩を動かすのですか？ 岩は波によって動きますか？ いいえ。私は岩の上にあります。それは、私たちの人生のキャンパスに 描かれた美しい肖像画であって、適切な説明ではないでしょうか？ 私たちの周りで何が起ころうとしても、私が岩の上にいるなら、そし

て、岩とはキリスト、キリストのことば、神のことばの上に立っているなら？私は岩のようにしっかりしています。私は健全です。どんな波でもかかってきなさい。ピュー〜♪（口笛）パウロがテモテに、贈物を無視しないようにと言っているのは面白いと思いませんか？ どうやら、彼らがテモテに接手した時点で、彼には牧師として教え、説教する賜物があることを認識していました。それからパウロは、聖書の朗読と説教と教えに専念するようになっています。説教と教えの違いは何でしょうか？ 説教は宣言すること、教えるとは指導することです。しかし、聖書の朗読？ あなたは、私たちが神の言葉を読むことは不可欠だと認識していますか？ なぜなら、私たちが御言葉の中に入るとき、御言葉が私たちの中に入って来るからです。そして、それを耳で聞くこと。繰り返しますが、信仰はどこから来るのでしょうか？ ありがとうございます。「聞くことから。」です。「耳のある者は聞きなさい。」繰り返しますが、旧約聖書を通して、「イスラエルよ、聞け。あなたの神、主が唯一の神だ。」「主があなたの神だ。」「わたしは主、あなたの神だ。」この最後の1つ、私たちの残りの時間を使いたいと思います。なぜなら、主は私に本当にここからいくつかのことを語られました。15節と16節から、皆さんと分かち合いたいです。それは、真心と関係しています。心から。半信半疑ではなく、真心。もし私が、最も優先順位の高いものは何かと聞かれるなら、私たちが生きているこの世界の中には、今の私たちにとって最優先事項はないとしたら？ 私は、そうあるべきだと思います。パウロがテモテに、勤勉であるようにと言っていることに注目してください。テーブルの両端がカバーされている勤勉さと警戒の違い。どのようにしてでしょうか？ 完全に自分自身をささげることによって。完全に/WHOLLY ちなみに、言葉遊びをお許してください。しかし、「聖なる/HOLY」とは、どういう意味かご存じですか？ 聖書の中で、私たちはこう言われています。「神が聖いように、聖くあれ。」良いでしょう、それに組みましょう。「どうやって?!」ああ、尋ねてくれて嬉しいです。聖霊の方法は、私たちが聖なる人生を送るために力を与えてくれます。そして、あなたは聖なる人生(Holy-life)が何であるか分かりますか？ それは全人生(Whole-life)です。人生の4分の3ではなく、人生の半分でもなく、人生の3分の1でもありません。それが、満ち溢れることです。あなたは満たされている、あなたは完全に、聖である。私がこう言うのを、皆さん飽き飽きしないことを願いますが、今は時間がありません。あの世界はもう存在しません。カジュアルなクリスチャンはこう言って…「ねえ、大丈夫さ。【分かりません】あなたにはもうそんなことは出来ないと思います。やってみることは出来ますが、ネタバレ注意。あなたは嘔み砕かれて、吐き出されるでしょう。申し訳ありません、もし…本当は、申し訳ないとは思っていませんが、しかし、優しく聞こえるので言っておきます。しかし、もしそれが「挑発的」であるなら すみません。第二歴代誌16章、7節から10節を読みたいと思います。ここで手早く、背景をお話しします。これは本当に、今日の私たちのための言葉だと思います。あなたは、イスラエルとユダの王の歴史の中で… 実際には、イスラエルには誰もいませんでした。ユダです。主の目から見て、正しいことをしたと言った王は、9人しかいませんでした。その9人を除く他の王たちは皆、主から見て、悪を行いました。良い王は9人しかいませんでした。ここでさらに興味深いのは、この9人の良い王の、彼らのうち8人は、人生の終わりでめちゃくちゃになりました。彼らは良い終わり方をしなかった。たった一人だけ、そして私とその名を言っても、私はこう約束できます。あなたは、その名を聞いたことがないと。私たちは天国で彼の名を聞くでしょう。彼の名前はヨタム。(第二歴代誌27章参照) その9人の王のうち、他の8人のように彼が主を悲しませるようなことをしたとは、何も記録されていません。彼の秘訣が何だったか分かりますか？ 繰り返しますが、それはピッタリだと思います。私は秘訣という言葉を使うのは嫌いですが、それは何というか…世界がその言葉をハイジャックしたからです。アラブ人がハイジャックという言葉を使うべきでないことは分かっています。しかし、世界が聖書の真実を乗っ取り、それを台無しにし、それを冒瀆し、それを一般的にするとき。「成功の秘訣を知っていますか？」神は成功を発明し、神が成功の秘訣を発明しました。だから、私はその言葉を聖化された元の形で使います。その王の成功の秘訣は、毎日毎日、彼は早く起き上がり、主を求めるのです。主の前に自分の道を明け渡し、全ての道を主に託したのです。30年間、彼は長く、満たされた、聖

い、敬虔な人生を生きていました。それから彼の先祖の元へと召され、主のもとへと旅立ちました。彼は死にました。これらの王の何人かは、良い王でさえ、何章にもわたって書かれています。彼は違います。ヨタムは違いました。彼は、私の記憶が正しければ、3節ほどだったと言いたいと思います。「ヨタムは主の目に良いこと、喜ばしいことを行った。」「主の前に自分の道を確認にし、すべてにおいて主に従った。」「そして彼は死んだ。」それで終わり？—はい。ドラマチックなことはないの？—ありません。そうではありませんか？—では、ここでアサ王について話しましょう。ユダの王です。彼は9人のうちの1人でした。良い王でした。早い段階で、主の目に正しいことを行いました。そして…、彼は少し居心地が良すぎたのです。神は彼を繁栄させました。神は彼を祝福しました。そして彼は、主の代わりに、それらにより頼み始めたのです。7節を見てみましょう。「そのとき、予見者ハナニがユダの王アサのもとに来て、彼に言った。『あなたはアラムの王により頼み、あなたの神、主に抛り頼みませんでした。それゆえ、アラムの王の軍勢はあなたの手から逃れたのです。』（歴代誌16:7)

「あのクシュ人とルブ人は大軍勢ではなかったでしょうか。戦車や騎兵は非常に多くはなかったでしょうか。しかし、あなたが主に抛り頼んだとき、主は彼らをあなたの手に渡されたのです。」（歴代誌16:8）

彼の治世の初めの頃、彼は小さく、脆弱でした。イスラエルは非常に弱く、エチオピア人の軍隊は、約100万人の強い男がいました。その数を考えてみてください。100万人以上の男がイスラエルに向かってくる。アサはどうしますか？「ああ、神よ！あなたが助けて下さらなければ、私たちは滅びます！」神は何をしますか？彼は助けます。彼は主に抛り頼まなければなりませんでした。なぜなら、他に道はなかったからです。彼はもう終わったも同然でした。それを分かっていました。なので、神はアサ王の支配の下、イスラエル人の手にクシュ人、ルブ人を渡します。そして彼は繁栄し、成長し始め、彼らの軍隊の数は増加し、そして今、別の脅威があります。今回だけは、彼は主に目を向けていない。彼は主を呼び求めず、主に抛り頼みません。彼はこれらの他の国々と、この同盟を確立します。興味深いのは、彼は、彼に対して向かってくる軍隊を見ていて、主はこんな感じです。「ああ、そうか。」「あなたは今、私を必要としていないようだ。」「ああ、エチオピア人とリビア人が100万人の男を連れて、あなたに向かってきた時は、あなたはそのときは私を必要とした。しかし、今、あなたは私を必要としていないね？分かった。いいだろう。あなたに自分自身を強制するつもりはない。私は、あなたが私に頼るようにする。あなたはそれを理解するだろう。あなたは大変な方法で学ぶだろう。」大変な方法とは何でしょうか？ああ、簡単な方法を学ぶことができればいいのに。私が本当に望んでいることが分かりますか？あなたの過ちから学ぶということです。個人的なことではありませんよ。私はあなたが苦しむのを見たいのです。恐ろしいことだと分かっていますが…しかし、私はあなたがあなたの罪と愚かさの結果に苦しむのを見たい、そして、私は代理で学びたい。そうすれば、私はそれを経験しなくて良いですから。しかし、そうはいきません。そうですね？時には、あなたは大変な方法を学ぶ必要があります。私は大変な方法で学ばなければなりません。それを証明する傷跡があります。なので、彼は大変な方法で学びます。9節、これはおなじみの、良く知られている節です。預言者がこの王にこう言うからです。「主はその御目をもって全地を隅々まで見渡し、（あちこち、見渡して、探して、）その心のご自分と全く一つになっている人々に御力を現してください。」さて、これに注目してください。ここで、あなたの神が与えられた想像力を使ってください。神が探している、と想像してみてください。「ああ、わたしにはやりたいことがある。誰を用いられるだろうか？」「ああ、彼はまだ準備ができていない。私は彼を用いれない。」「いや、彼らは…、半信半疑なようだ。彼らは用いれない。」「ああ、彼らにはまだもっと働きが必要だ。」「私は彼らのために用意していることのために、もう少し彼らを備えさせる必要がある。」「彼らにはまだ準備ができていない。」「そして私は、心が完全に私に向けられている人を探している。」「そして、私がその人を見つけたとき…」後ろに下がらなさい。主の救いを見なさい。もし、私が何をするつもりなのかあなたに教えようとしても、あなたはそれを信じないでしょう。なぜなら、私がそのような人を見つける時、私に何が出来ると思うか？

私は彼らの代わりに 強くなることができないだろうか？ 良いですか。神は探し、そして誰かを見て、「ダメだ、彼らは強すぎる」と言うかも知れません。「彼らは自分自身の力が強すぎて、私が用いることは出来ない。」「もし私がそれをしたら、彼らは自分の手柄だと思い、誰もわたしの栄光を見ないだろう。」だから、彼は探し続けています。その後、比喻をお許してください。しかし、彼が探したとき何が出てきますか？ 心が完全に、すべて、捧げられ、神と全く一つになっている者の名、心から、すべてを完全に主に委ねている者。「主よ、私はここにいます。私を遣わしてください！」エステルのような人です。「もし死ぬべきならば、私は死にます。」（エステル記 4:16 参照）ヨブのような人。「神が私を殺しても、なおも私は彼に信頼し、彼をほめたたえる。」（ヨブ記 13:15 参照）そういう人を、神は探し求めているのです。悲しいことに、アサ王は、かつてはそういう人だったのです。だからこそ、神が彼に代わって力を現したのです。預言者はこう言います。「あなたはこのことについて愚かなことをしました。これから、あなたには数々の戦いが起こるでしょう。」（第二歴代誌 16:9）アサの反応はどうでしたか？ あなたは彼がひれ伏すを思うでしょう。「主よ…！」と。彼はそうしません。彼が何をしたか知っていますか？ まあ、驚くべきことではありません。それは私たちがやっていることです。私たちはそのメッセージが気に入らないと、それを語った人に怒りをぶつけます。それはあなたの郵便配達人、あなたにメールを持って来る人のようなものです。あなたはメールを望んでいないので、あなたは彼らに怒りをぶつけます。彼らはただのメッセンジャーです。私がどこに向かっているか分かりますか？ これは自分勝手ですよ？「あなたはメッセージが気に入らない？ 私はただの配達人ですよ！」アサは怒りだします。

「アサはこの予見者に対して怒りを発し、彼を牢獄につないだ。」（第二歴代誌 16:10）

「…アサはこのとき、民のうちのある者を踏みじった。」（第二歴代誌 16:10）

これが、良い王ですか？ はい。要点はなんですか？ 重要なのはこれです。あなたが心のすべてで、あなたのたましいすべてで、主を愛し、あなたの全身、あなたの心全体が完全に彼に一致し、完全に聖く、彼に捧げるなら、こんな言い方をしても良いでしょうか？ 彼は拒否できません。彼は完全に献身的であるその心を、拒否することはできません。神が壮大で輝かしいことをするために、待ち構えているようなイメージです。何にも勝って、非常に素晴らしいことを。あなたが今までに、考えたことも想像したこともないようなことを。しかし、私たちは、彼の奇跡と祝福の手を、自分の半信半疑な心のロープで縛っています。私は誰かと同じように、このことにおいて罪を犯した者の一人です。私は何度も告白しなければなりません。不信仰を。私はイエスにこう言った人のことを思い出します。「主よ、信じます。私の不信仰をお助けください。」それは私です。その列に並んで良いですか？「私の不信仰を助けてください。」私は神が大きなことをすると信じたい。彼は大きな神です。さて、最後にもう一つ、皆さんの忍耐に感謝します。イエスが弟子たちに、「なぜあなたは疑ったのか？」と言われるとき、「ああ、信仰の薄い者よ。」と。彼が軽蔑や嫌悪感をもって言ったとは、想像しないでください。「なんて、信仰が薄いんだ！」いいえ、もっとこんな感じです。「神はこんなにも大きいのに、なぜあなたの信仰はそんなにも小さいのですか？「なぜ疑うのですか？」ヤコブは、疑う人は、揺れ動き、行ったり来たりするようだと 言っています。（ヤコブ 1:6 参照）「分からない、分からないよ〜。」それは半信半疑で、それは二心です。お立ちください。祈りましょう。私は今とても、罪を示されています。皆さんもそうであることを願います。「不幸は仲間を欲しがる」ですよ？ 罪の示しは仲間を欲しがります。

お父さま、ありがとうございます。それは難しい言葉ですが、良い言葉、非常に必要な言葉です。主よ。あなたのことばは、切り取ります。切り取られる必要があります。主よ、聖霊がここから先、引き継いでくださることを祈ります。なでなら、ここには一人も、こう言わない人はいませんから。私たちは、私たちの人生の中でこれを 現実にするために、聖霊を必要としますと。主よ、こう言ってもらえる者の一人として 数えられたいです。「わお、彼らは完全に信頼しきっている。」と。主よ、私たちの疑う心を許してください。主よ、感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7